

松江スポーツコミッションの設立に向けた団体ヒアリング実施報告

1. 実施日程

令和7年1月7日（火）～9日（木）

2. ヒアリング先

- (1) 株式会社山陰合同銀行
- (2) 松江商工会議所（松江フィルムコミッション協議会事務局）
- (3) 一般財団法人島根県物産協会
- (4) 一般財団法人くにびきメッセ

3. ヒアリングの内容

各団体の取組の現状、スポーツコミッションの設立後の参画や連携の可能性について、ヒアリングを行った。

4. 主な意見

- ・ プラットフォーム（スポーツコミッション）への参加や交流ミーティングの出席に前向きな反応を示す団体もある一方、関係団体の積極的な参加を得るためには、体制や財源などをより具体的に説明する必要があるとの意見もあった。
- ・ スポーツ大会の参加者、来場者と飲食店を結び付ける仕組みができると良い。
- ・ 飲食は、来場者が個人でスマホ検索することが多く、紹介はしていない。
- ・ 状況次第ではあるが、大きな大会であれば、会場への物販出店は可能。一方で、人手不足で販売に出向くことが難しくなっており、店舗に来ていただく仕組みづくりができると良い。
- ・ 参加者や来場者と市民の交流の場ができると良い（お抹茶でのおもてなし等）。
- ・ 島根県のスポーツや観光部門と連携することで、松江市だけでは不足する宿泊施設や交通、観光先があった際に迅速な対応が可能となり、おもてなしの向上にもつながる。
- ・ プラットフォーム機能では、情報提供後に必ずフィードバックを受けることで、いざという時のフォローをすることが大切。
- ・ 合宿誘致は、専門の旅行代理店を介しての受入れが多く、個別での開拓は難しい。
- ・ 誘致活動は、プロパー職員がいてノウハウをためていくことが大切。
- ・ 財源の確保の観点から、3年後の事務局については、プラットフォーム機能だけでなく、財源確保ができる組織がよい。